

[タイム] ハの沢出合(8:40)→終了(9:05)

### 鬼ヶ畑沢支流二の沢

1989年9月3日

二の沢(仮称)下降開始9:20。沢は細いが水はきれいである。ここも樹林帯の中で、沢筋は暗い。15分程下ると、5mの滝が出てきた。クライミングダウン。若干ナメ状で、ホールドも多いので、楽である。そのあと1~3mの小滝が階段状に連なる場所に出る。8個の小滝が連なっているが、下降に難しい所はない。このあと沢の流れはなだらかになったので、もう終わりかと思っていたら、本流との出合に3つの小滝を連ねていた。最後の3mをシャワーでクライミングダウンしたところで下降終了。所要時間30分。

(記

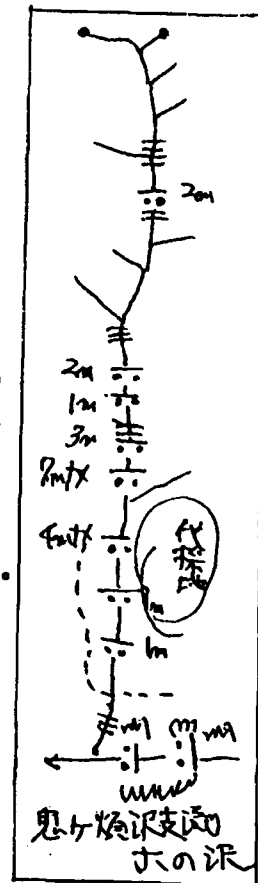
[タイム] 二の沢下降開始(9:20)→下降終了(9:50)

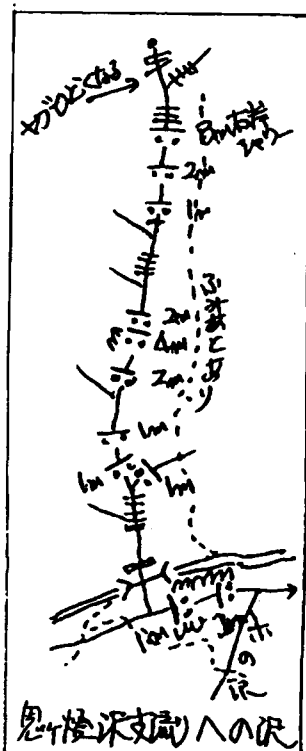
### 鬼ヶ畑沢支流ホの沢

1989年9月9日

7:20ホの沢(仮称)の遡行開始。すぐ左岸が伐採地となつて、沢は倒木で歩きにくくなる。そんな中4mナメ滝がかかる。左岸を快適に直登。ホールドも多く、傾斜的にも登りやすいナメ滝である。このあとまた7mのナメ滝。左岸の伐採地はここで終わっている。このナメ滝もホールド多く、傾斜的にもちょうど登りやすい。左岸を快適に越える。そのあとすぐ3mのナメ滝。ここもホールドが多い。ホの沢(仮称)の核心部はここで終了。このあとは平凡な登りとなる。

8:10右手の支沢に少し入った所から大量の湧水が入り、本流のほうは水量がぐっと減る。そしてすぐ水源の湧水となる。この沢も湧水が水源であった。





【タイム】 ホの沢遡行開始(7:20)→終了(8:10)

### 鬼ヶ嶺沢支流への沢

1989年9月9日

6:15遡行開始。沢幅は割とあるが、水量の少ない沢である。そのせいか沢には雑草が茂り、時々やぶごぎに近い状態になる。10分程遡ると、4mの滝が出てきた。この沢最大の滝である。左岸をシャワーで直登する。最初は簡単に登れると思ったが、ホールドは思ったより少なかった。

このあとしばらく暗い沢筋となる。そして3m最後の滝。右岸をシャワーで直登する。このあと沢はヤブでうまる。まだかなりの水量があるため、無理して突破したら、

その先でアッというまに流れがなくなってしまった。岩屑の下から大量に湧き出る水がこの沢の水源。八溝山系には湧水が多いとはいえ、ここの湧水は特に量が多い感じである。

(記)

【タイム】 への沢出合(6:15)→終了(6:50)

### 鬼ヶ嶺沢支流トの沢

1989年9月3日

トの沢(仮称)は、林道小太郎線とほぼ並行して流れている。出合はちょっと深い谷を思わせるが、全体としてはなだらかな流れが続いている。滝は最大のもので3m。ここはホールドが無数といってよいほど多く、簡単に登れる。あと1~2mのが2個あるのみ。

源頭付近は、まだ新しい造林地である。植林されたばかり

